

(令和4年1月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水 産 物 全 般	<p>1月は、緊急事態宣言下にあった前年同月に比べて飲食店等の需要の落ち込みが少なかったことから、総入荷量は前年同月並みとなり、総取扱金額は前年同月比で13%上回った。</p> <p>2月は、水産物の水揚げが全般的に少なくなる端境期となるが、兵庫県日本海沖でのホタルイカの漁が本格化する。よく耳にする富山湾（富山県）よりホタルイカの水揚げ量が多いのは兵庫県である。定番の酢味噌とともに、一足先に春の味覚を感じていただきたい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で5%上がったが、単価は、鮮魚全般で需要が伸びたことから20%上回った。</p> <p>品目別には、さわら、ひらめ、まだい（養殖）の入荷量は前年同月を上回り、単価も上回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は12%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷えびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷さわらの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は4%上回った。</p> <p>品目別には、塩さけ、ゆで丸かにの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。塩さばの入荷量は前年同月を上回ったが、単価は輸入原料の値上がりから、前年同月を上回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	長崎，高知で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で3%上回ったが，単価は需要の増加がみられたことから17%上回った。
ま い わ し	千葉，静岡で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で18%上回ったが，単価は大型物主体の入荷であったことから21%上回った。
さ ば	千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で42%下回り，単価は29%上回った。
す る め い か	富山，石川で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で71%下回り，単価は11%上回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で8%上回ったが，単価は，飲食店の需要が伸びたことから23%上回った。
よ こ わ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で28%上回ったが，単価は太物の値上がりが影響し，前年同月並みとなった。
ぶ り	長崎，鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で4%下回り，単価は51%上回った。

※ 太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で35%上回ったが、単価は大型物のお荷減少から前年同月並みとなった。
冷するめいか	入荷量は前年同月比で102%上回ったが、生鮮物の入荷量減少により、単価は前年同月並みとなった。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は18%上回った。
すけそうこ	入荷量は前年同月比で14%下回り、単価は7%上回った。